

# 時 栃 報 幼

題字／栃木県知事 福田富一氏

第 133 号

平成30年6月20日

一般社団法人 栃木県幼稚園連合会  
 〒320-0032 宇都宮市昭和1-3-10 栃木県庁舎西別館  
 ☎028(622)2821 FAX 028(622)2816  
 ●編集人／伊沢 信恭 ●発行人／石嶋 勇  
 ■栃幼連ホームページ <http://www.youchien.or.jp>



## 理事長挨拶



理事長就任にあたって

栃幼連理事長 石嶋 勇

平成三十年五月十七日の栃幼連五月通常総会に於いて理事長に選任されました。大変微力ではございますが、就任以来七年目のスタートを切らせていただきました。

今までの六年間、多くの皆様のご支援ご協力に感謝するとともに、引き続きのご指導ご鞭撻をお願い申し上げます。

平成二十九年三月三十一日に内閣府・文部科学省・厚生労働省告示第一号をもって公示され、「幼稚園教育要領」「幼保連携型認定こども園教育・保育要領」「保育所保育指針」

は平成三十年度からはそれに基づいた幼児教育・保育が実施されます。

改定に当たったの基本的な考え方として①「幼稚園教育要領及び保育所保育指針との整合性の確保」②「幼保連携型認定こども園として特に配慮すべき事項等の充実」。

「子ども・子育て支援新制度」の一環として創設された「幼保連携型認定こども園」の教育課程と教育および保育の内容を新たに定めたものであります。

国の制度改革の中で、この度の「教育要領」と「教育・保育要領」の改

訂など矢継ぎ早の大変革の中でありますが、すべての子どもの最善の利益が実現される社会を目指して前進してまいります。

幼稚園教諭免許状の更新制度が平成二十一年四月に導入されて以来十年になります。

現在県内の養成校（大学・短大・専各学校）様には大変お世話になっているところではありますが、その養成校への対象者（県外対象者含む）からの受講申し込みが殺到しており、受付が極めて困難な状況であります。しかし、各養成校とも定員枠を広げるなどして対応されております。このような状況を考えるときに国の制度そのもの見直しも含めて検討していただけたらと願っております。

一方、振興活動については平成三十年度予算が確定し栃幼連関係予算は運営費県補助として@四、八〇〇で堅持し、一人当たり単価一八九、七〇〇になり増額することになりました。また、栃幼連が行う研修事業に要する経費に対する助成及び子ども・子育て支援新制度を踏まえた研修事業に昨年と同額の補助金を確保し、栃木県私立幼稚園振興財団の補助率は昨年度までの一〇〇〇/二十七から一〇〇〇/二十九へとアップ致しました。これらは「とちぎ自民党」の県会議員の皆様のご支援と「県担当部局」の幼

児教育・保育への深いご理解の賜物であります。衷心より感謝申し上げます。

これにより職員の働く環境や福利厚生・処遇改善などの取り組みを推進し、幼稚園教諭と保育教諭不足に歯止めがかかることを願っております。

今後も栃幼連・栃私幼振興連盟が連携協力して要望活動してまいりますので、会員の皆様のご支援ご協力を重ねてお願い申し上げます。

私ほ、こんぼん人  
 還暦も過ぎて古希に王手をかける年になってしまいました。

人生の後半戦いかに楽しく充実した生活が送れるのであろうか？

そこで、仕事はさておき趣味の世界を楽しめたらと思う今日この頃です。

ちなみに趣味は（そば打ち無段・剣道三段・ゴルフ108打・その他）

こども政策課長 就任にあたって

こども政策課長 桐渕 ゆか



新年度となり早二九月。田植えも



終わり、さわやかな風が青田を渡る季節になりました。子どもたちも園内の新しい環境に慣れてきたころではないでしょうか。

一般社団法人栃木県幼稚園連合会及び会員の皆様には、本県の幼児教育の振興や充実のため、格別の御尽力と御協力をいただき、厚く御礼を申し上げます。

さて、我が国は、核家族化や未婚化、晩婚化が進み、本格的な人口減少時代を迎えています。こうした社会の大きな変化に対応し、豊かさを実感できる社会を実現するためには、未来を担う子どもたちを社会全体で守り、育てていくことが重要だと考えております。特に幼児期は生涯にわたる人格形成の基礎を築く時期であり、幼稚園・認定こども園に対する県民からの期待は大きなものがございます。

県では、県政の基本指針である栃木県重点戦略「とちぎ元気発信プラン」と人口減少対策に取り組む「とちぎ創生15（いちご）戦略」に基づいて、社会全体で結婚や妊娠・出産、子育てを支援する環境づくりや、地域において、子どもたちの成長や夢を見守り、育む体制づくりに取り組んでいるところです。

特に、教育・保育の分野におきましては、幼稚園児等も含めた未就学児を対象とする第三子以降保育料無

償化を継続していくとともに、地域への施設開放や保護者間の交流促進、子育てに関する情報提供など、幼稚園・認定こども園が実施する子育て支援事業に対し、引き続き支援して参ります。

子どもたちがすくすくと育つことは、保護者の方々をはじめ、子ども・子育てに携わる全ての人々の共通の願いです。次世代を担う子どもたちが園内に元気な声を響かせ、心豊かに成長できるよう、幼児教育や子育て支援の充実にも引き続き取り組んで参りますので、栃木県幼稚園連合会や幼稚園・認定こども園の皆様の更なる御理解と御協力をお願いいたします。

皆さん、はじめまして。

**私ほ、  
こんな人**

今年四月から栃木県保健福祉部こども政策課長  
の桐沢です。

「傾聴」と「受容」を心がけて、公私ともに、自分が今できることを「前向き」に取り組んで行きたいと思っています。趣味は映画観賞とゴルフです。よろしく願います。

**子どもの育ちを  
つないでいくために**

幼児教育センター長 新村 幸江



季節の草花に癒やされ、ここにき

て幼少期の遊びを懐かしく思い出しております。この度、幼児教育センター長に着任しました新村幸江と申します。よろしく願います。

栃木県幼稚園連合会の皆様方には、日頃より幼児教育センターの各種事業につきまして御理解・御協力をいただき、ありがとうございます。また、ご推薦いただきました栗田英子幼児教育専門員には、豊富な経験を活かして研修の講師や幼稚園連合会との連携にご尽力いただき、センター運営に寄与してくださっております。重ねて感謝申し上げます。

さて、今般の幼稚園教育要領等の改訂に伴い、幼児期において育みたい資質・能力が明確になり、小学校教育との円滑な接続等が基本方針として掲げられました。私自身、昨年度まで小学校に勤務しておりましたので、自分の実践を振り返り、その時々の子どもの姿と重ねながら、幼稚園教育要領等の内容に関心をもって何度も読み返しました。その中で「環境を通しての保育」の意義を改めて理解し、保育者の意図的・計画的な環境構成と「遊び」の奥深さを考えさせられました。と同時に、子どもが疑問や自分の思いを持って解決しようとする姿、試行錯誤を通して

発見し、納得し、感動に至るまでの姿等、幼児期の価値ある様々な体験が基盤となって、義務教育につながる資質・能力が育まれていることも改めて確認いたしました。

一方、子どもの育ちをつないでいくために、小学校教員が幼児教育、入学前の子どもの育ちを知ること、また、入学後、どのような教育課程の下で教育を展開しているのか、幼稚園等の教員と情報交換したり、学び合ったりすることの意義深さを強く感じました。

幼児教育センターにおいては、今年度、幼児教育と小学校教育の円滑な接続を重点課題として取り組んでおります。その連携の推進にあたり、「研修」や「調査研究」の内容とも関連を図りながら事業を展開してまいります。これからも信頼されるセンターとして、幼児期の教育の充実を目指して努力してまいります。後とも御支援・御協力をいただきますよう、よろしく願います。

**私ほ、  
こんな人**

小学校から社会人まで、バスケットボール一筋でした。今は、野山を散策したり、布で小物等を作ったり、パン作りにも挑戦したりと、自然や手作りを楽しんでいます。

## 副理事長挨拶

栃幼連副理事長 中川 祐慈



この度の五月定時総会におきまして、再任のご承認をいただきまして、これまで各方面で多大な力を発揮されてきた石川均前副理事長が退任され、改めて、果たされてきたご功績の大きさを実感しているところであります。

新年度から船田弘副理事長、そして新たに就任された馬場章信副理事長の両先生と共に石川勇理事長を全力で支えていく所存であります。どうかよろしくご指導をお願い致します。

さて、新制度施行後四年目を迎えました。県幼連加盟園も新制度移行園が六割を超えております。今後ますます増加することが予想されますが、基本は、教育・保育の向上を図り子どもたちの最善の利益に寄与することであり、連合会が一枚岩となつて、私学助成園と新制度園の双方の振興を図っていくことに変わりはありません。

また、今後、さらに加速する少子化や人口減少の問題、人材確保や地域間の格差拡大等の問題に直面していくことが容易に予想できます。連合会や各地区会は、この対策として、県や市町とビジョンを共有し細やかに連携していくことが重要と考えております。何卒ご協力をお願い申し上げます。

**私は、** 「日頃の煩わしさこそ  
**こんな人** 生き甲斐…」と、  
また、思えてない人。

修行は足りてない。  
出来れば仕事は控え目にして道楽（書作）を再開したい。

栃幼連副理事長 船田 弘和



新制度がスタートし四年目を迎えました。しかし未だ安定的な状況にはなく幼稚園・こども園は多様な時代を象徴するかように環境変化のスピードに追われ、大変な時代を迎えております。政権は安定したりリーダーが望まれておりますが、栃幼連においては石川理事長による安定政権をベースに、変化に対応できる組織体制が整えられたことが何よりも素晴らしいと感じております。

この度の再任で副理事長として四期目を迎えますが、中川副理事長、新たに就任された馬場副理事長と連携協力して退任された石川前副理事長の大きな役割を担いつつ各委員長のリーダーシップを頼りに理事長を支えてまいります。ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

**私は、** 昔から凝り性で、パワ  
**こんな人** ショベルで一晩で園庭に花壇を造つたり池を造つたり鯉を泳がせて園児をびびくさせたりなど、いたすら大好きで、幼稚園教諭・保育士から大型二種まで何でもこなす守備範囲の広い坊さんです。

栃幼連副理事長 馬場 章信



半数以上が認定こども園・新制度の園へと移行し、栃幼連として、どこを向いて、何を獲得していくために動いていけば良いのか、難しさが増しています。そんな中、振興活動の中心的役割を担っておられた石川均先生が副理事長を退任されました。とうとう石川先生の代わりは務まりませんが、精いっぱい取り組んでまいります。

振興活動においては、栃幼連が組織として「大同団結」していることが不可欠です。将来を見通したとき、少子化を止めていくことが最大の振興策と言えます。子育て家族が移住したいと思えるような、魅力ある園作り、経済的メリットをアピールできる新施策の実現に向けて、栃幼連の組織力を示してまいります。

整理整頓が苦手で、その結果、探し物ばかりしている人です。人生の半分は何かを探しているような気がします。健康診断のたびに体重を落とすように言われ続けて十年余り。今年こそはダイエットに挑戦します。

## 各委員長挨拶

総務委員長 富川 将



この度、総務委員長を仰せ付かりました。微力ではありますが、精一杯任に当たりたいと思っております。

当委員会は、前任の平野総務委員長の思い、意志を継ぎながら各委員会・事務局との連携を密にして、加盟園・職員・園児・連合会・家庭の力をより一層高めるために最善の努力をさせていただきます。そのために、副委員長と稲川康代先生をはじめ、所属の各委員、専門委員の先生方と一丸となって力を合わせて、知恵を出し合いながら会務の円滑な執行を目指してまいりますので、ご協力の程よろしくお願い致します。

**私は、** 面白いこと、楽しいこと、  
**こんな人** そしておいしいものが大好きで、雨ニモマケズ／宮沢賢治の中で謳われている様

な「サウイフモノニワタシハナリタイ」と思っている人です。

振興委員長 山越 忍隆



この度、定時総会におきまして指名理事の承認をいただき、突然の振興委員長を仰せつかり、私自身びっくりしている今日この頃です。

さて、新制度が施行されて三年、各園の進路は多岐にわたっております。現在国は、「多子世帯の保護者負担の軽減」や「ひとり親世帯等の保護者負担の軽減」など、これまで段階的に進めてきた幼児教育の無償化を二〇二〇年度を目指し、一気に進める予定であります。教育・保育の質の向上には、どうしても財源の確保と補助金の増額が必要不可欠です。そのためには、国・県・市の議員の皆様、県・市行政担当の皆様と共に連携、協議を重ねることが最も重要だと思います。栃木県の幼児教育・保育を受ける子ども達と保護者の皆様のために、一円でも多く予算が獲得できるように、石川理事長、中川、船田副理事長を中心として、石川副委員長をはじめ、振興委員と共に活動内容を深めてまいります。皆様のご理解ご協力よろしく申し上げます。

**私は、** 現在「饒阿寺」の  
**こんな人** 住職を務める傍ら、附属の幼稚園である「認定こども園定利幼稚園」の理事長。

園長を兼務しております。幼稚園と小学校は、大阪で送り、中学・高校は東京の私立中高一貫のミッションスクールに通いました。在学中は、聖書研究会に所属しておりましたが、卒業後両親が離婚し大きな転機をむかえました。その後、伯父の寺に小僧として預けられ、突然「おぼっちゃま」から「寺



の「小僧」へと転落し、伯父や兄弟子から、とにかく厳しく仕込まれ現在に至っております。休日は、今は月に二日程とれていますが、小僧時代はほとんど無く、一ヶ月に一日くらいでした。趣味は読書で、手当たり次第ジャンルを問わず読むことにしています。家族は、妻と三人の娘に恵まれました。最後に、夢というほどの大それたものはありませんが「日々日常生活の当たり前こそが大事」だと思っております。

教育研究委員長 小倉 庸寛



引き続き教育研究委員長を拝命いたしました。今回も責任の重さを感じているところでございます。十年に一度の教育要領、幼保連携型認定こども園教育・保育要領の改訂に加え、処遇改善加算等加算に係わる研修についても関係することとなっていることから、企画者としては重責となります。例年通り、教育研究大会をはじめ、セオリー、テクニカル、資質向上選抜養成講座、乳幼児研修を行うていきます。たくさんの教職員の方々に参加していただければと思います。また、全日本私立幼稚園幼児教育研究機構より発行されている『改訂版研修ハンドブック』の活用もお願いいたします。今期も山崎副委員長をはじめ、教育研究委員の皆さんと共に尽力していく所存です。皆様のご理解、ご協力をお願い致します。

**私談**  
**こんな人**

休日は息子の野球とサッカーの応援で忙しくしています。予定のない日は愛犬ハリーとゴロゴロするのが好きです。

経営研究委員長 黒田 光泰



引き続き経営研究委員長を仰せつかり、微力ではありますがその任を全力で全うしてまいります。さて、新制度が四年目となり、加盟園の多くが新制度に移行した中で、未だ制度設計の不備・不明、給付格差や事務処理の煩雑さなど諸問題は多くあります。

しかし、保育・教育の向上を図り、すべての子どもに最善の利益を供するために私たちは園の運営を安定させ充実させていかなければなりません。そのためにも委員会では年間五回の園長・設置者研修会や実務（安全運転）講習・経営実態調査、経営安定に資する情報の提供等を行い、各施設の運営が向上改善され、豊かな保育環境が整うための内容の研修を実施してまいります。幸いにも副委員長の馬場先生はじめ、過去二年共に歩んだ委員会メンバーが多く再任となりました。一層、深化充実した委員会活動となるものと確信しています。『進化論』を唱えたいウインは、「最も強い者が生き残るのではなく、最も賢い者が生き延びるのでもない。唯一生き残ることが出来るのは、変化できる者である。」と言いました。大きな変化の中で、しっかりと「不易」と「流行」を考え判断しながら加盟各園の健全経営に役立てるよう努めてまいりますので、ご理解ご協力をよろしくお願致します。

**私談**  
**こんな人**

球の楽天球団を創設以来、勝つても負けても応援しています。大田原楽天応援会の会長として、仲間と共に数回、仙台の球場に足を運び、さらに毎年大型バスを用意して園の教職員たちを率いて、楽天のユニフォームを着込んで応援を楽しみ、みんなと仙台名物の牛タンをいただいています。

認定こども園対策委員長 堀 昌道



この度、委員長を拜命しました。先日全国の認定こども園の委員の富川先生よりお誘いがあり、全園認定こども園研修会の協力員として参加してまいりました。その時の委員さんか認定こども園についてよく知っている方で、私は右も左も解らないのに引き受けてしまつて大丈夫なのかと今頃になって思いました。とにかく初めでの認定こども園委員会なので、今までやって来られた理事の先生や専門委員の先生によく聞いて、なぜ「新制度」が必要になったのかという社会的要請を踏まえつつ、私たちの前にいる子どもたちが、年齢に即して成長することができるよう、教育、保育、子育て支援、地域や行政との関係について検討していきたいと考えております。



私はゴルフが好きなのですが、時間が取れず、その代わりに二年前からスイミングを習っています。溺れそうになりながら、子どもたちも叱られるとこんな気持ちなのかと思案しています。

**私談**  
**こんな人**

広報委員長 伊沢 信恭



引き続き、委員長という大役で恐縮しておりますが、広報委員を引き受けてくださいました先生方と心をあわせ、皆さまのお役にたてる、よりよい拓幼時報を作成していきたいと願っております。拓幼時報等の作成は、広報委員だけで作り上げるものではありません。いま、この記事をご覧になっている皆さまにも原稿執筆の依頼をさせていただくこともありますし、カメラを

持った広報委員が皆様の園などにお伺いさせていただき、撮影などをさせていただきますこともあります。拓幼時報は皆さまと一緒に作り上げていくものと考えております。どうかご協力の程、よろしくお願ひ申し上げます。

**私談**  
**こんな人**

先生は教職員よりも早く出勤し、掃き掃除をされていることを知り、感銘を受けました。それから約二十年前、先生を見習って私も掃き掃除ようやく三年目。はじめは気分よく掃除をしていたのですが、三年目になると「なぜ、自分が？」という不満な心がわいて来ていることに最近気が付いた、小さな人です。

青年部委員長 青柳 貴也



このたび青年部委員長を仰せつかることになりました。青柳です。青年部委員会での研修会や県外視察、新規採用宿泊研修の実行委員など、これまでに得た経験や知識、先輩方のアドバイスを生かし努力していきます。また、青年部メンバー同士がコミュニケーションを深め、共に成長し合える委員会を目指していきたいと思

**私談**  
**こんな人**

生まれ、父となりました。四月に第一子の男の子が生まれました。趣味は、スポーツをすることと、美味しいものを食べること、みんなで楽しくお酒を飲むことです。

## 平成30・31年度 栃幼連役員・委員会構成

平成30年5月17日現在

|       |                   |                            |                      |
|-------|-------------------|----------------------------|----------------------|
| 理 事 長 | 石 嶋 勇 (認定すずめこども園) |                            |                      |
| 副理事長  | 中川 祐慈 (清滝寺幼稚園)    | 船田 弘和 (認定こども園おのみや幼児教育センター) | 馬場 章信 (認定こども園たから幼稚園) |
|       | 【経営研究・広報 委員会担当】   | 【教育研究・認定こども園・青年部 委員会担当】    | 【総務・振興 委員会担当】        |

### ●総務委員会

|      |                                  |      |                        |
|------|----------------------------------|------|------------------------|
| 委員 長 | 富川 将<br>(認定間々田こども園)              | 専門委員 | 寺内 宏子<br>(作新学院幼稚園)     |
| 副委員長 | 稲川 康代<br>(平出幼稚園)                 | //   | 落合 久恵<br>(岡本幼稚園)       |
| 委 員  | 宇南山照元<br>(認定こども園真岡ひかり幼稚園)        | //   | 西田 知生<br>(にしだ幼稚園)      |
| //   | 細島 洋明<br>(認定こども園真岡ひたば幼稚園いちの杜保育園) | //   | 松下 匡崇<br>(認定こども園栃木幼稚園) |
| //   | 山中 章弘<br>(認定こども園小山幼稚園)           | //   | 秋間 英司<br>(認定こども園黒磯幼稚園) |

### ●振興委員会

|      |                          |      |                         |
|------|--------------------------|------|-------------------------|
| 委員 長 | 山越 忍隆<br>(認定こども園足利幼稚園)   | 専門委員 | 上野 和彦<br>(にのみや認定こども園)   |
| 副委員長 | 石川健太郎<br>(認定こども園アルス南幼稚園) | //   | 安藤 儀一<br>(認定こども園犬伏幼稚園)  |
| 委 員  | 金子 礎泰<br>(聖幼稚園)          | //   | 赤井 義明<br>(ひまわり幼稚園)      |
| //   | 遠藤 英昌<br>(認定こども園花園幼稚園)   | //   | 佐藤 峻介<br>(認定こども園いすみ幼稚園) |
| //   | 齋藤 君世<br>(高根沢第二幼稚園)      | //   | 円山 仁三<br>(認定こども園長畑幼稚園)  |
| //   |                          | //   | 瀧田 真<br>(ふたば幼稚園)        |

### ●教育研究委員会

|      |                        |     |                         |      |                           |                         |
|------|------------------------|-----|-------------------------|------|---------------------------|-------------------------|
| 委員 長 | 小倉 庸寛<br>(認定こども園愛泉幼稚園) | 委 員 | 安藤 紀子<br>(聖ヨゼフ幼稚園)      | 専門委員 | 五十嵐市郎<br>(宇都宮大学教育学部附属幼稚園) | 山中真由美<br>(認定おおやこども園)    |
| 副委員長 | 山崎 英明<br>(釜井台幼稚園)      | //  | 岡本 純世<br>(認定こども園すみれ幼稚園) | //   | 佐々木桐子<br>(萌丘幼稚園認定こども園)    | 池田 律子<br>(聖母幼稚園)        |
| 委 員  | 今井 政範<br>(認定こども園さくらが丘) | //  | 栗田 英子<br>(認定こども園黒羽幼稚園)  | //   | 鈴木 典子<br>(山辺幼稚園)          | 大嶋 裕<br>(認定こども園今市中央幼稚園) |
| //   | 小林 研介<br>(呑竜幼稚園)       | //  |                         | //   | 齋川喜代美<br>(認定こども園育成館幼稚園)   | 岡本 純世<br>(認定こども園すみれ幼稚園) |
| //   |                        | //  |                         | //   | 斎藤 佳子<br>(認定こども園しずわでら幼稚園) | 栗田 英子<br>(認定こども園黒羽幼稚園)  |

### ●経営研究委員会

|      |                         |      |                            |
|------|-------------------------|------|----------------------------|
| 委員 長 | 黒田 光泰<br>(ひかり幼稚園)       | 専門委員 | 荒木 龍胤<br>(認定こども園せんたん幼稚園)   |
| 副委員長 | 馬場 伸裕<br>(陽南幼稚園)        | //   | 佐藤 健太<br>(認定こども園七井幼稚園)     |
| 委 員  | 新田 文英<br>(足利いすみ幼稚園)     | //   | 茂木 理佳<br>(足利さくら幼稚園)        |
| //   | 栗原 賢明<br>(認定こども園くにや幼稚園) | //   | 石原 顕彰<br>(認定こども園佐野たちばな幼稚園) |
| //   | 栗原 森人<br>(聖母幼稚園)        | //   | 小野瀬泰弘<br>(楠エンゼル幼稚園)        |

### ●認定こども園対策委員会

|      |                           |      |                            |
|------|---------------------------|------|----------------------------|
| 委員 長 | 堀 昌道<br>(認定こども園岩舟幼稚園)     | 専門委員 | 永田 文子<br>(さくら認定こども園さくら幼稚園) |
| 副委員長 | 関口 修司<br>(認定こども園ひらかわ幼稚園)  | //   | 上野 和彦<br>(にのみや認定こども園)      |
| 委 員  | 石戸奈緒美<br>(みふみ認定こども園)      | //   | 井上 智賀<br>(幼保連携型認定こども園旭幼稚園) |
| //   | 瀧口 琢也<br>(認定こども園明星幼稚園)    | //   | 大塚 倫子<br>(認定こども園こぼと)       |
| //   | 香川 玲子<br>(認定こども園鹿沼ひかり幼稚園) | //   | 内木 大輔<br>(認定こども園第二業師寺幼稚園)  |
| //   |                           | //   | 吉水 義浩<br>(認定こども園鳥山みどり幼稚園)  |
| //   |                           | //   | 栗田 典昭<br>(認定こども園黒羽幼稚園)     |

### ●広報委員会

|      |                           |      |                                |
|------|---------------------------|------|--------------------------------|
| 委員 長 | 伊沢 信恭<br>(静林幼稚園)          | 専門委員 | 吉羽 俊明<br>(認定こども園高ノ台幼稚園)        |
| 副委員長 | 田崎 容子<br>(認定こども園平出むつみ幼稚園) | //   | 三田 敏夫<br>(幼保連携型認定こども園足利こぼと幼稚園) |
| 委 員  | 前田 浩輔<br>(認定こども園友愛幼稚園)    | //   | 小森谷博一<br>(認定こども園大平みなみ幼稚園)      |
| //   | 阿久津恵子<br>(きぬ川幼稚園)         | //   | 橋本 慎平<br>(鹿沼みどり幼稚園)            |
| //   | 齋藤 達成<br>(認定あけぼのこども園)     | //   | 月江正太郎<br>(虹ヶ丘認定こども園)           |

### ●青年部委員会

|      |                         |      |                           |                           |                         |
|------|-------------------------|------|---------------------------|---------------------------|-------------------------|
| 委員 長 | 青柳 貴也<br>(晃望台幼稚園)       | 地区幹事 | 石戸奈緒美<br>(みふみ認定こども園)      | 佐野 延洋<br>(洗心幼稚園認定こども園)    | 近藤 史人<br>(認定こども園みのり幼稚園) |
| 副委員長 | 栗原 賢臣<br>(認定こども園くにや幼稚園) | //   | 寺尾 淳<br>(太陽幼稚園)           | 栗原 賢臣<br>(認定こども園くにや幼稚園)   | 橋本 慎平<br>(鹿沼みどり幼稚園)     |
| //   | 石嶋 純<br>(認定こども園きつれ川幼稚園) | //   | 川崎 寛章<br>(真岡杉の子幼稚園)       | 小森谷博一<br>(認定こども園大平みなみ幼稚園) | 石嶋 純<br>(認定こども園きつれ川幼稚園) |
| //   |                         | //   | 新田 正法<br>(認定こども園足利いすみ幼稚園) | 花岡 宏樹<br>(認定こども園梅ヶ原幼稚園)   | 秋間 英司<br>(認定こども園黒磯幼稚園)  |



# 平成30年度 定時総会



平成三十年五月十七日(木)ご来賓に栃木県議会議長五十嵐清様、栃木県保健福祉部子ども政策課課長 桐渕ゆか様、子ども・子育て支援室 齋藤敦様、副主幹大根田敦様、栃木県幼児教育センター長新村幸江様のご臨席を賜り、宇都宮コンッセールにて定時総会が開催された。船田副理事長が開会を宣言した後、石嶋勇理事長からは、『新制度移行園が半数を超えてきて、今後、より質の高い教育・保育活動が求められる時期となってきた。今まで以上に栃木県幼稚園連合会加盟園が一致団結して、子どもたちのために頑張っていこう。』と力強い言葉が投げかけられた。

続いて、ご来賓である栃木県議会議長の五十嵐清様、栃木県保健福祉部子ども政策課課長の桐渕ゆか様、幼児教育センター長新村幸江様からもご挨拶をいただいた。ご挨拶の中で、日々進む少子化の問題、また子育て環境の問題等にも触れていただき、栃木県幼

稚園連合会の未来へのエールとなった。

議案では、議長に鹿沼地区の仁神堂幼稚園園長 島 洋一 先生を選出し、平成二十九年度事業報告を石嶋理事長、各委員会委員長より報告された。審議事項は、平成二十九年度収支決算書類及び付属証明書の承認、及び役員改選についての事項で、満場一致にて可決承認され、議事を終了した。

最後に中川副理事長の閉会のご挨拶があり、定時総会を閉会した。

### 【資格審査】

(百九十園中) 出席園 百十三園  
委任状出席園 七十七園

### 【議事録署名人】

恵光幼稚園 鱒淵 有紀 先生  
育成館幼稚園 荒居 養雄 先生

## 栃木県私立幼稚園振興連盟 平成三十年年度総会



平成三十年年度栃木県幼稚園連合会総会後、当連盟の総会がコンッセールにて開催された。

石川均会長の挨拶の後、議長に島洋一氏(認定子ども園仁神堂幼稚園)を選出した。「資格審査」会員数



百七十三名中、出席者九十四名、委任状提出者七十七名、欠席者二名「議事録署名人」鱒淵有紀氏(恵光幼稚園)、荒居養雄氏(認定子ども園育成館幼稚園)「記録」河智美氏(事務局)の手続きを経て議事に入った。

- ①平成二十九年度事業報告並びに収支決算の承認について
  - ②平成三十年度事業計画(案)並びに収支予算(案)の承認について
  - ③自由民主党栃木県私立幼稚園支部平成二十九年度収支決算並びに平成三十年度収支予算(案)の承認について
  - ④規約の一部変更について
  - ⑤役員改選について
- 以上の五議案はすべて原案通り可決された。また、総会終了後に開催された幼稚園教育振興懇談会は、参加者同士の活発な情報交換が行われ、有意義な懇談となった。

### 教員養成機関・栃幼連懇談会

期日：平成三十年五月二十九日(火)  
午前十時三十分～  
会場：ニユーみくら 大会議室

●出席養成校(順不同)  
作新学院大学女子短期大学部・白鷗大学・國學院大学栃木短期大学・

足利短期大学・佐野日本大学短期大学・宇都宮共和国・国際介護福祉専門学校・宇都宮ビジネス電子専門学校

### ●主な懇談内容

県内の養成校八校(十四名)と栃幼連(正副理事長、常任理事九名)との懇談会が例年通りに開催され、馬場副理事長の進行のもと主に次のことが協議された。

- 一、栃幼連加盟園に就職を希望する就職説明会について(新規採用に関する取り決め事項を含む)
  - 二、栃幼連加盟園に就職を希望する就職説明会の広告協賛について
  - 三、教員養成校の進路状況実態調査について
  - 四、教育実習について
  - 五、幼稚園・認定子ども園等の就職に関する諸問題について
- 以上のことについて意見交換がされた。その他、養成校からは就職説明会は「学生の授業の兼ね合いなどから日曜日開催ではどうか」という意見をいただいた。一方で、栃幼連側からは「就職説明会参加を授業に出席したものと置き換えることはできないだろうか」という提案がされた。





幼稚園教育要領等は、今年度より全面実施です！

平成二十九年三月に改訂・告示された幼稚園教育要領等は、今年度より全面実施となっております。

各園におかれましては、教育要領等の改訂の趣旨を踏まえ、教育課程や全体的な計画の編成や改善をし、実践、評価していくことが必要です。

その一助となりますよう、幼児教育センターでは、「幼稚園教育課程編成の手引」を作成し、三月に各園に配布させていただきました。



本書の最初には、教育課程の役割や編成する際の基本的な考え方を要約して掲載しました。また、教育課程編成・改善の項目を設け、項目に沿って確認しながら教育課程の見直しができるようになっていきます。ぜ

ひ、園の教育課程をチェックしてみてください。さらに、宇都宮大学教育学部附属幼稚園、那須烏山市立つくし幼稚園、足利短期大学附属幼稚園、第二ひかり幼稚園、栃木市認定西方なかよしこども園、認定こども園あかみ幼稚園に御協力いただき、教育課程改善の実践事例を掲載しましたので、各園の実情に応じて、本書を活用してください。

幼稚園幼児指導要録等に関する通知は届いていますか？

平成三十年三月三十日に幼稚園、こども園、保育所の要録に関する文書が通知されました。どの通知にも、小学校との緊密な連携を図る視点から、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」を活用することなど、教育要領等改訂に伴う要録の改善について示されていますので、園内研修等で、記入する内容や方法について、全教職員で共通理解を図っていただくことが大切です。

幼児教育センターでは通知に伴い、「幼稚園幼児指導要録記入の手引」を作成し、六月六日付けで各園に一部ずつ送付させていただきました。また、幼児教育センターのホームページにも掲載しています。要録を作成する際に、参考にしてください。

新規採用幼稚園教諭等研修

四月四日、新規採用幼稚園教諭等研修第一日を、総合教育センターで実施しました。期待と意欲に満ちあふれた新規採用教諭・保育教諭二六七名が、春の柔らかな日差しの下、満開の桜並木をくぐり研修をスタートさせました。



開講式では、桐淵ゆかこども政策課長、石嶋勇栃幼稚園理事長、新村幸江幼児教育センター長から挨拶があり、保育者の仲間入りをした新採者に歓迎の温かいエールが送られました。

「保育者として」「幼児期の健康管理と安全管理」「幼児期の教育の基本」「保育の実践と省察」の講話・演習を通して、新採者から、保育者としての自覚や保育実践における決意の声を聞きました。

新採者の子どもを思う熱い心が、保育実践者としての力量に結びつくよう、職員一同支援させていただきます。



研修の申込みは「こちらから」

研修の申込みは、こちらの研修案内（三月送付）を御活用ください。研修内容とFAX申込書が一体となっており、そのまま送信できます。今年度も、たくさんの方の参加をお待ちしております



センター職員紹介

- センター長 新村 幸江
- 宇大附属小学校より 指導主事 高根沢 伸友
- 宇大附属幼稚園より 幼児教育専門員 鈴木 明子
- 栃木市そのべ保育園より



- 黒川 指導主事
- 鈴木 幼児教育専門員
- 栗田 幼児教育専門員
- 高根沢 指導主事
- 神長 顧問
- 吉河 部長補佐
- 新村 センター長
- 前原 副主幹



### こども政策課だより

四月の定期異動により、桐淵こども政策課長のほか、子ども・子育て支援班では谷川係長、石下主任、高岩主事、塚田主事が配属となりました。

引き続き幼児教育や子育て支援の充実に努めて参りますので、本年度もよろしくお願いいたします。



- 三井主事
- 石下主任
- 稲見主査
- 神地主任
- 高岩主事
- 塚田主事
- 斎藤副主幹
- 大根田副主幹
- 齋藤子ども・子育て支援班長
- 桐淵課長
- 藤井課長補佐(総括)
- 増子副主幹
- 谷川係長

### 学校基礎調査(教職員確認等)のヒアリング実施について

学校基礎調査(教職員確認等)のヒアリングを次の日程で実施します。私学助成を選択する幼稚園のみが対象となります。御多忙のところ誠に恐縮ですが、担当者の出席について、御協力をお願いします。

#### ● 日程

七月十七日(火) ～ 十九日(木)

#### ● 場所

栃木県庁本館六階大会議室

● その他詳細については、別途送付する通知文を参照してください。

### 各種届出書類について

● 園則や園地・園舎、理事・監事等の変更を行った場合は、速やかに各届出を提出願います。

● 学校法人の平成二十九年度決算書及び平成三十年度収支予算書の提出期限は、六月二十九日です。

● 平成二十九年度決算に伴う資産総額の変更登記は、五月三十一日までに、登記済届を六月二十九日までに御提出ください。(寄附行為を変更済みの法人においては、変更登記を六月三十日までに、登記済届を七月三十一日までに御提出ください。)

### 平成三十年 七月～九月までの事業予定

|          |                                    |
|----------|------------------------------------|
| 7月5日     | 拓幼PTA総会                            |
| 7月7日     | 就職説明会                              |
| 7月9日     | 0・1・2歳児研修                          |
| 7月13日    | ※中堅幼稚園教諭等資質向上研修                    |
| 7月20日    | 認定こども園委員会研修                        |
| 7月25日    | ※中堅幼稚園教諭等資質向上研修                    |
| 7月31日    | 第65回県教研大会                          |
| 8月1日     | バス安全運転講習会                          |
| 8月6日     | 新採研(集合研修)                          |
| 8月8日     | 免許状更新講習                            |
| 8月9日     | ※スキルアップセミナー                        |
| 8月11日    | 資質向上研修(園内研修)                       |
| 8月17・18日 | 新採研(宿泊研修)                          |
| 8月21・22日 | (公財)幼児教育実践学会(東京都) 全日私幼関東地区教研大会(千葉) |
| 8月22日    | ※スタートカリキラム講座                       |
| 8月24日    | ※中堅幼稚園教諭等資質向上研修                    |
| 9月5日     | O・1・2歳児研修                          |
| 9月7日     | 保育テクニカル講座                          |
| 9月12日    | ※幼児教育特別講座                          |
| 9月13日    | 設置者・園長研修会                          |
| 9月27日    | ※教育課程研究集会                          |

※は幼児教育センター事業

### 訃報

● 佐野市 香竜幼稚園 理事長 小林 龍雄 先生 平成三十年五月十三日 逝去 謹んでご冥福をお祈り申し上げます。

### 編集後記

「思い返せば今年の春はだいぶ前から暑かった」と思うのは、私だけでしょうか。夏はどうか、子どもたちは元気いっぱい！室内でも戸外でも新たな友だちもでき始めて、楽し過ごしているものと思えます。

さて、皆さま方の園には、ツバメが飛んできますか？巣作りをしたのりしますか？本園では毎年のように何羽となく飛来しては、巣を作る場所を探します。衛生面を含め、子どもたちや他の方に影響がない所もあるため、すぐに巣作りを開始し、卵を産み、ひなを孵し、効率のいい子育てをする「夫婦」がいますが、一方で「こは困る」という所を何度となく挑戦しては、別の場所にも挑戦、という夫婦もいます。なぜか今年はしごとがたな~~~~。日々「ごめんね！他をさがしてね」と、ビニールや網を張りながらツバメに謝る毎日で、申し訳ない思いでいっぱいでした。

人間界はというと、今や少子化時代、そして、子どもがいない家庭も多くなって、寂しさまで感じてしまっています。各園にも、この少子化の波は押し寄せていますので、いろいろな意味で工夫が必要になってきました。子育て環境を整備するのむずかしい課題ですが、私たちの力を発揮する絶好の機会かも知れません。積極的に意見交換して頑張っていきたいと思います。

以前より、子どものいる家庭は減っていますが、ひと家庭のお子様数は増えているような気がします。か。子育てするなら、ぜひ一人より二人、二人より三人、かな

何はともあれ、本年度も各種の幼児教育振興のため、皆様方のご協力をお願い致します。

(認定こども園平出むつみ幼稚園 田崎 容子)